

# ～22年間に思いを寄せて～ 幸手市立香日向小学校閉校

子ども一人ひとりの瞳がきらきら輝く。  
そんな香日向小学校が3月31日をもって、22年の歴史に幕をおろします。  
今後地域のみなさんの温かい見守りをお願いするとともに、これまで学校を支えてくださった全  
てのみなさんに感謝申し上げます。 問合せ 学校教育課 ☎(43)1111内線631・FAX(43)3188

## 香日向小学校のあゆみ

香日向小学校は、平成2年4月に、長倉小学校から分離し、児童数246名、8学級で開校しました。その後、急激に児童数が増加し、平成7年度のピーク時には、児童数643名、19学級となりましたが、現在は、78名6学級です。

4月1日には、長倉小学校と統合します。

大空 たかく

翔べ 翔べ 白鷺

世紀に育つ 夢のせて

青い宇宙の かなたへ

幸せの 手を 振って

呼べば こたえる

こたえる

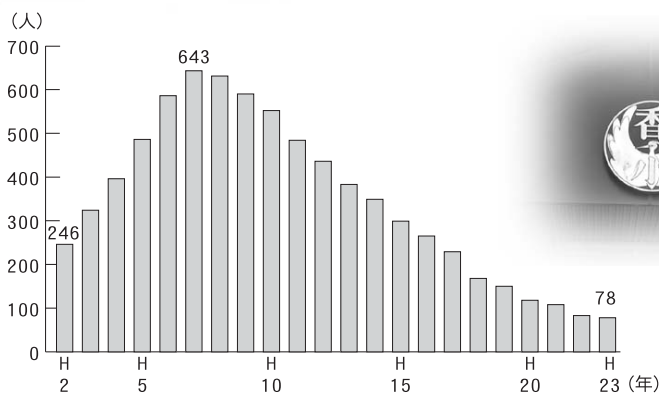
エコー エコー エコー

香日向

校歌には、開校当時の香日向小学校に集う人々の願いや思いが強く感じられます。

## 輝きつづいた学校

香日向小学校では、小規模校の特色を生かした活動を推進してきました。6年



生がリーダーシップを發揮して、縦割り活動給食、休み時間の遊び、遠足などに取り組んできました。

また、たくさんの地域のみなさんに支えられ、学校ファームでの米作りや野菜作りにも取り組み、学習・運動、そして友達との関わりや地域の人との関わりなどで一人ひとりの児童が輝きいつぱいの学校生活を送ってきました。

## 閉校記念式典が行われました

2月4日(土)、香日向小学校体育館において、閉校記念式典が行われました。

大塚喜美子校長は、「香日向小への感謝の気持ち、香日向小で学んだこと、香日向小での思い出を大切に、これからは新しい環境に早く慣れ、胸を張って歩んでいってください」と、児童への期待を込めて挨拶を行いました。

また、閉校に伴い、保護者と教職員の会(土田千代子会長)から、市へ千塚西公園に設置するサークルベンチの目録、同会閉校実行委員会(齋藤明日子委員長)から、児童に、校章入りマグカップ、校歌楽譜入りクリアファイルが贈呈されました。

第2部では、ミュージッククラブのコンサート、全校児童による鼓笛演奏、手話を交えた合唱、よびかけなどが発表され、その素晴らしいさに多くの出席者が感動しました。

香日向小学校「ありがとう」の呼びかけの一節です。

地域の方々にもたくさん見守られてきた香日向小学校が深めてくれました。地域の方々と私たちの「絆」を！全てがすてきな思い出です。

学校・先生方、地域のみなさんへの感謝の気持ち、香日向小学校の児童としての誇り、そして、これからの決意が力強く体育館に響きました。

地域と共にあった香日向小学校。児童の生き生きと活動する声絶えなかつた学び舎に、静寂が訪れようとしています。



▲閉校記念式典の様子

## (7) 幸手市

# 高齢者地域見守り支援ネットワーク

## 全体会を開催しました

2月10日(金)ウェルス幸手において、関係機関から81人が参加し、全体会を開催しました。ネットワークのこれまでの実績を報告するとともに、「認知症の基礎知識～認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者(認知症サポーター)になるために!～」をテーマに認知症疾患医療センター(武里病院)医療ソーシャルワーカー鈴木智妙<sup>ともみ</sup>氏の講演会を行いました。参加したみなさんには、認知症サポーターに登録いただき、認知症への理解を深め、「認知症の人を支援します」という意思を示すオレンジリング(プレスレット)を配布しました。



▲講演会の様子

## 幸手市高齢者

## 地域見守り支援ネットワークとは?



▲ネットワークステッカー

高齢者が安心して住み慣れた地域で生活していけるよう、地域住民、関係機関および行政が連携して、地域全体で高齢者を見守る体制を整え、効果的な支援を行うことを目的として平成23年2月15日「幸手市高齢者地域見守り支援ネットワーク」が立ち上げられました。

現在、市内の介護保険事業者や警察、医療機関、民生委員、商工会、社会福祉協議会、金融機関などが関係機関として、ネットワークに参加しています。関係機関の目印はネットワークステッカーです。

関係機関のみなさんには、日々の業務などの中で接している高齢者の“異変”に気付いた際には、ネットワーク事務局または東・西地域包括支援センターにご連絡いただくほか、年1回程度の全体会などに参加していただいています。

## みなさんも気軽な気持ちで

## 温かいつながりをつくっていきましょう!

近所の高齢者と顔を合わせた時に挨拶をするなど、日常生活の中でごく当たり前に行っているお付き合いを通じて、地域の中で見守りあう温かいつながりをつくっていきましょう。

### ◆ 見守りのポイント ◆

- ①きざし／一人暮らしになった・配偶者が亡くなった・ひきこもりがち
- ②気づき／新聞がたまっている・最近見かけない・いつもより具合が悪そうに見える  
家の中から高齢者を大声でどなる声が聞こえる
- ③さりげない見守り／見張りにならない・プライバシーにも配慮して
- ④連絡(相談)・問合せ／

介護福祉課高齢福祉担当(ネットワーク事務局) ☎(42)8438・FAX(40)3008  
幸手東地域包括支援センター(ウェルス幸手内) ☎(42)8438・FAX(40)3008  
幸手西地域包括支援センター(西公民館内) ☎(40)3443・FAX(44)0870



▲認知症サポーターオレンジリング